



Revolution of lifestyle 3.0

A system of living where everyone can have multiple dwellings

# 1. Jam とは

我々は、3つの要素を兼ねそろえた新しい暮らしのカタチを提供する。

1. 誰もが複数の別荘・別宅が持てる暮らし
2. 人も住居も移動しながら生活できる暮らし
3. 色んなジャンルの人たちと出会えるコミュニティプレイスのある暮らし

これらは別々の3つの暮らし方ではなく、1つの暮らしのカタチである。シェアポートという全く新しいシステム（概念）によって作られる暮らしのカタチであり、その場所の名称をJamという。Jamは、これまで1つの居住地しかなかった従来の暮らし方から、誰もが複数の居住地を確保し自由に行き来できることを実現する。

---

ことの始まりはシンプルで、『もっと楽しい暮らし方ってないだろうか？』と、何気なくそんなことを思ったことからである。それは、普段の生活が平凡で何となく退屈に感じていたからだ。

そんな風を感じたことはないだろうか？朝、駅のホームにはいつもの顔ぶれで、満員電車で揺られ、人込みをかき分け、いつも同じ風景で、淡々と時間に追われる毎日。



なぜ、いまの暮らし方が楽しくないのだろうか？

恐らく、それは1つの場所を拠点に生活をしているからではないかと、私は仮説を置いている。

私たちの今の暮らし方は、実にシンプルだ。朝、家を出て学校や職場へ行き、また同じ場所に戻ってくるといった、住居が1カ所で暮らすスタイルで、基本毎日その繰り返しである。そのシンプルさゆえ、特に変化があるわけでもなく刺激は生まれない。そのため、平凡に感じてしまっているのではないだろうか。もしそうであれば、居住場所が複数あったら、生活に『変化』が生まれ暮らしが楽しくなるのではないかと考えた。

でも、そもそも、なぜ私たちは1カ所で生活をしているのか？

定住は、農業が起源という説があるが、今は大半の人が農業から解放されている。当たり前すぎて、特に考えることもなかったが、ふと、そんな疑問を抱く2つの要因があった。

1つは、9.11や3.11に代表される、いつ起こってもおかしくないテロや災害の脅威によるもの、そして、もう1つは、テクノロジーによる社会環境の変化によるものだ。

9.11や3.11の衝撃は強く、昨日までの暮らしが一瞬で変わってしまう現実を目の当たりにして、今後生き抜くためには、今までの考え方を改めなければならないと、自分自身『生き方』を見直すキッカケになった。またテクノロジーは、固定電話から携帯電話、デスクトップPCからスマホのように、新しい製品・サービスを生み出したことで、場所に縛られる必要のない環境を作った。こうした要因によって、拠点が1つだけでは危険ということ、また、1つの場所にあえていない必要はないといった新たな考えが生まれ、価値観が変わった。しかし、実際の暮らし方はどうだろうか？私自身、いまも家は1カ所のままで生活している。

今の時代、1カ所だけで暮らすメリットを考えても、なかなか思いつかない。それでも、複数の居住地を持たない理由は、当然、通勤・通学の問題もあるが、1番の理由は、金銭的な問題ではないだろうか。現在、私たちが別荘のような複数の家を持つには、買うか借りるかの2者択一である。どちらにせよ、金銭的な負担が大きい。その為、別荘や別宅を持つ人は、1部の金銭的に余裕がる裕福層だけである。時代の変化と共に価値観は変わったのに、暮らし方は従来のままということは、その暮らし方は、既に時代に合っていないということが言える。

そこで、いまの時代背景を踏まえた、『変化』がある新しい暮らしのカタチを作ろうと考えた。それが、冒頭でお伝えした、

1. 誰もが複数の別荘・別宅が持てる暮らし
2. 人も住居も移動しながら生活できる暮らし
3. 色んなジャンルの人たちと出会えるコミュニティプレイスのある暮らし

である。しかも、この暮らしのカタチを、家を買ったり借りたりしない方法で実現する。

1 番の課題である金銭的な問題を解決できれば、複数の居住地が持て、従来の 1 ヶ所だけで生活をする必要がなくなる。そうすれば、生活に変化が生まれ、暮らしがワクワクし、より豊かな暮らしになるのではないかと思ったからだ。

この一連の思いのもと、新しい暮らしのカタチを実現するために、シェアポート Jam プロジェクトを立ち上げた。Airbnb は『旅のカタチ』を変え、Uber は『移動のカタチ』を変えた。そして、いま我々 Jam は『暮らしのカタチ』を変える。

## 2. シェアポートとは

では、どうすれば家を買ったり借りたりせずに複数の居住地がもてるのか？

そこで私たちが着目したのが、ムダに放置されている『空き家・空き土地』。

現在日本国内において、空き家・空き土地は、大きな社会問題の 1 つになっており、今後さらに増えると言われている。

その理由は 3 つ。

- 1 : 利用者がいない
- 2 : 維持管理ができない
- 3 : そもそも人口減少



そこで、土地の所有者が、維持が出来ずただ寝かしているのであれば、その空き家・空き土地を利用して、そこを『ポート』と称し（位置づけ）、いつでも好きな時に行け停泊でき

るコミュニティプレイスにする。そして、サブスクリプション制で運営費用を集めその『ポート』を利用するみんなで維持していく仕組みにする。

そうすれば、空き家のアップサイクルはもちろんのこと、それと同時に、『ポート』を多拠点居住地の1つとして、新しい暮らしの場を確保することができる。

個人で複数の居住地を所有することは、金銭的にハードルが高い。けど、複数の人数でしかも所有ではなく利用するというカタチであれば、複数の居住地を持つことができる。

利用する者みんなで維持していく、多拠点居住地にもなるコミュニティプレイス。

これが、シェアポート。そして、そのポートの場所を『Jam』と呼ぶ。

ご存知の通り、いわゆるポート（港）とは、色んな所にあり、多くの船が来て停泊し、たくさんの方が集まる場所である。



シェアポート Jam は、いつでも好きな時に停泊ができる、色んな人が集まり、出会い、語り合い、友を作り、美味しい食事をしたり、時には休みに、時には仕事をしに、そんな港町をイメージした陸の港である。

### 3. シェアポート Jam の 5 つの特徴

- 1：多拠点居住地の役割
- 2：港で出会うコミュニティプレイス
- 3：住居の移動と停泊
- 4：テーマ性をもった港
- 5：All Staff — All Guest システム

## 1. 多拠点居住地の役割

個人で所有する多拠点居住地が『別荘』ならば、ポート『Jam』は、複数で維持していく多拠点居住地である。バス・トイレ・キッチンといった、生活に必要なものは最低限あり、いつでも停泊（利用）できる場所。こうしたポートが複数カ所あることで、人はその時の気分や状況に合わせてポートを選び利用できる。また、災害などの有事の際にも、避難場所として利用できる。

## 2. 港で出会うコミュニティプレイス

ポートは、港利用許可証という **Passport** を持つことで利用できる会員限定のコミュニティプレイスである（**Passport** については後で説明する）。1人で来るもよし、ファミリーで来るもよし、仲間と来るもよし。日常とは違う空間で、いつもと違う人たちと出会い、刺激を受けたり与えたり、そんな時間を過ごせるのが港『Jam』。

## 3. 住居の移動と停泊

**Jam** は、人が停泊するだけでなく、住居そのものを移動させ停泊させることができる。住居と言っても、地面に固定されている家は当然動かせない。ここで言う住居とは、モーターホームやモバイルハウス、或るいわ、**van** 系のクルマやコンテナハウスといった移動可能な家のことを示す。移動可能なオフィスや家を持っている人や、今後購入される方は、住居ごと移動し停泊が可能である。但し、全てのポートに住居を移動させ停泊できるわけではない。当然のことながら、都心の様な場所では、その様な広い駐車スペースを確保するのは無理だからだ。なので、住居を停泊させられる **Jam** は限定される。

## 4. テーマ性を持った港

ポートは、場所によってテーマを持ったポートを作る計画である。例えばアウトドアスポーツ、農業体験、漁業体験といったような、その場所や環境を生かした、体験型のポートである。こうしたテーマ性のある **Jam** があれば、会員は気軽に体験が楽しめるとともに、趣味や興味でポートを選ぶこともできる。

## 5. All staff—All guest システム

ポートは、そもそもムダに放置してある場所を利用するため、多かれ少なかれ修繕・改良などが必要になる。シェアポートは、利用する人たちみんなで維持するシステムなので、ご自身の自宅のように、修繕の必要があれば自分たちで行い、また必要な物があれば、自分たちで用意する。自分たちで環境を整え、自分たちが楽しむ。それがオールスタッフ・オールゲスト システム。

## 4. シェアポート Jam の利用方法

シェアポート Jam を利用するには、3つの方法がある。

- 1 : Passport 会員
- 2 : Jam Club 会員
- 3 : Jam Business 会員

### 1. Passport 会員 月額：1,650 円

- ・港利用許可証 (Passport) 発行  
(港利用許可証があれば、いつでもポート『Jam』を利用できる)
- ・イベント参加

### 2. Jam Club 会員 月額：2,500 円

- ・港利用許可証 (Passport) 発行
- ・Facebook 非公開グループ参加
- ・Jam でのイベント企画、開催ができる
- ・Jam 貸切り利用権
- ・各種情報、イベントなどの先行発信、予約

Jam Club は、シェアポート Jam を実践的に利用できる会員である。Jam を貸し切って利用したり、自ら企画したイベントなどを開催することができる。また、非公開グループにて、『あんな所に Jam があつたらいいね』とか『こっこの Jam はこう改良しよう』など、今後のシェアポートの拡大計画や、『Jam』作り・企画などを一緒に話し合っていけるスペシャル会員によるコミュニティグループである。

### 3. Jam Business 会員 月額：1,500 円×従業員数

- ・法人専用港利用許可証 (Passport) 発行
- ・イベント参加
- ・Jam 貸切り利用権

Jam Business 会員は、法人専用の会員登録である。登録をしている法人の社員、及び

その家族は、**Jam** を利用することができる。法人は、打合せや研修、遊びの場としての利用はもちろんのこと、場所によっては社員の出張時や終電に遅れた場合などの宿泊場所としても **Jam** に停泊できるなど、使い方は多様である。

各種費用について

※ゲストルーム 1 部屋利用時は、維持・改修費として 1 泊につき 1,800 円ご支援頂く

※ゲストルーム利用者以外は、1 停泊 500 円/人（水道光熱費として）

※各種イベントなどは別途かかります。800 円～

但し、上記価格は現時点での予定額のため、今後変更される可能性があることをご理解いただきたい。

## 5. シェアポート **Jam** 利用イメージ

**Jam** の会員になると、どのように **Jam** を利用できるのか、その使用例をお伝えしたいと思う。ここでは、国内にポート『**Jam**』が海・高原・都心の 3 ヶ所あると仮定してお話する。

例 1：会社員 A さん

A さんは、地方都市に住んでいる。

週末、パーティがあるため都内へ行き、宿泊場所として都心の **Jam** に停泊する。

次の週末、家族で海へ遊びに行き、海のポートに停泊する。ここでは、ゲストルームは使わず、テントを張りキャンプをする。もちろん、敷地内には、バス・トイレ・キッチンも備わっている。他にも 3 組のファミリーが来ていて、いつの間にか、子供たちはみんな遊び、大人たちもまた、酒をかわし語り合った。

例 2：事業家 B さん

B さんは、基本自宅で仕事をしているが、たまに気分を変えるため、昼間都心のポートへ行き、仕事をして夕方自宅に帰る。夏の間、涼しい高原と海で仕事をしようと、まずは 2 週間高原のポートに停泊。高原での暮らしは、小鳥のさえずりで目が覚め、午前中に仕事を終わらせ、午後は趣味の自転車やトレッキングを楽しむ。夕方 **Jam** に戻り、その日来た会員たちと話をしたり食事をし、そして、星空の下、野外シネマを楽しんだ。次の 1 週間、今度は海のポートに停泊。海のポートでは、母屋の壁塗りとデッキの修理が行われるため、それに参加する。

### 例3：フリーランサーCさん

Cさんは、フリーのヨガインストラクター。パーソナルレッスンを主に行っている。今回、**ヨガ in Forest** を企画し、会員に声をかけたところ、10名の参加者が集まったので、1泊2日で高原の**Jam** で開催する。また、Cさんは旅が趣味。連休には、所有のキャンピングカー（モーターホーム）でロードトリップに出かける。これまでは、車中泊をする時は、基本道の駅を利用していた。道の駅は、トイレはあるがバスは基本ない。また、不特定多数の人が来るので、夜中は危険も伴う。しかし、今は海や高原の**Jam** に停泊し、ロードトリップを楽しむことができる。

簡単なイメージではあるが、**Jam** が多拠点居住地でありコミュニティプレイスであるということがご理解いただけると思う。

**Jam** の会員になり複数の居住地を持つと、いま現在ご自身が住んでいる賃貸住宅や持ち家もまた、見方を変えれば、多拠点居住地の1つとして捉えることができる。すると、現在の家も含めて、目的やあるいは気分、さらに、時間や日、週や月単位で、自分にとって最良の場所を選んで暮らすことが可能になる。仕事がある時は、職場へ行くのに最適な居住地を、海で遊ぶ時は、海に近い居住地を使うというような感じである。

## 6. シェアポート **Jam** を利用するメリット

シェアポート **Jam** を利用するメリットは3つある。

1. 煩わしい手続きが必要ない
2. 高い費用負担から解放される
3. 何より暮らしが楽しい

これまでの家を買ったり借りたりする時の問題点はなんだろうか？

それは、煩わしい手続きがいくつもあることだ。例えば、『売買または賃貸契約の締結』であったり、『連帯保証人』であったり、そして、『固定資産税等の税金の支払い』などだ。こう言った手続きは、実に面倒くさい。一方、シェアポート **Jam** の場合は、こうした煩わしい手続きは一切必要ない。会員登録をするだけだ。スポーツジムの会員登録をするのと何ら変わりはなく、至ってシンプルである。

また、家を買ったり借りたりする時の問題点はもう 1 つある。

それは、『契約時の礼金・敷金といった手数料』や、『家賃や購入金額、そして、ローン』などの費用の負担だ。複数の居住地を所有しようとするれば、その費用負担は大きい。しかし、シェアポートは、所有ではなく利用するシステムなので、高額な費用は発生しない。また、旅行先での宿泊費を考えても、Jam に停泊すればホテルに泊まる時のような高額な費用負担は必要ない。その為、宿泊のハードルも下がるので、より色んなところへ遊びに行くこともできる。

さらに、Jam の会員であれば、1 つの場所に縛られることはなく、複数の居住地（ポート）に停泊できるため、わざわざ特にワクワクしないアパートメントの家賃に、毎月 10 万円も払う必要はないのだ。そして、自らコミュニティを探さなくても、Jam 自体がコミュニティプレイスなので、自然と人との繋がりも生まれる。移動をすること、そして、新しい人と出会うことで、自身の QOL (quality of life) の向上にも繋がり、暮らしが楽しくなる。

## 7. 所有不動産をシェアポート Jam にするメリット

不動産所有者にとって、所有不動産をシェアポート Jam に登録するメリットは、3 つある。

1. 不動産維持に関わる自己費用負担の削減
2. メンテナンス費用の削減
3. 建物劣化の防止

まず第 1 に、『不動産を利用させてもらう代わりに、不動産維持費を我々が負担する』というのが、シェアポートの仕組み。その為、所有者は、不動産を維持するために、いままでご自身で負担してきた税金および水道光熱費を削減できる。

次に、その不動産に関わる必要なメンテナンスは、我々が自分たちで費用を負担し行う。その為、所有者は、自ら費用を負担する必要はない。

誰にも利用されていない建物の劣化は早く進む。その主な原因は、換気が行われないことで起こる、カビの増殖、木材の腐敗やシロアリ被害、それと、水道を使わないことで起こる、錆、汚臭、そして、虫が住み着くからだ。しかし、その劣化のスピードも、我々が利用することで防ぐことができる。

もし現在、ただ寝かしてある不動産があり、維持管理費だけを払っているのであれば、一度シェアポートに申請をしてみることをお勧めする。港として採用されれば、再び人に利用されることで、その不動産も生き返ることができる。そして、何より所有者自身も、ムダな費用を負担しなくて済むからだ。

## 8. グロース戦略

Jam の最初の 1 歩は日本国内から始める。

現在、我々はプラットフォームのグロース戦略として、3 つの STEP を想定している。

1. 会員数の拡大
2. ポート数の拡大
3. 外国でのポートの拡大

スタート時は、とにかく会員数が重要である。会員数を増やすために、まずはアウトドア関連に興味がある個人及びファミリーをターゲットにし、会員数を増やしていこうと考えている。その理由は 3 つ。

1. Jam は、都心部にも作るが、主に海、山、湖といった自然のある環境に作る予定である。そのため、アウトドアが趣味の人にとっては身近な場所であり、受け入れやすいものだと考えられる。
2. 遊べる環境に自分たちの居住地 Jam があれば、Jam の利便性及び価値が伝わりやすい。
3. そもそも Jam のメンバーが、アウトドアスポーツやキャンプが好きであり、ライフスタイルの 1 部になっているから。

さらに、これと並行して、Jam Business 会員の拡大も行う。シェアポートは、会員によって維持をしていくシステムのため、一定数の会員がいないと Jam を維持していくことができない。正確に言えば、会員が実際に Jam を利用することで Jam を維持していくことができる。なので、1 つの法人が会員登録すれば、その社員及び家族は Jam を利用することができるので、利用者数を増やすことができる。その結果、一定数の会員を集められたら、次の段階として、『2. ポート数の拡大』を実施することができる。

ポートの数は、あくまでも会員数が一定の数集まって初めて増やせる。なので、無暗にポート数を増やすことは出来ない。会員数が増えポート数が増えれば、会員はそれこそ季節や気分でポートを選びながら移動することができる。Jam となる場所（不動産）を確保するにあたり、現在我々は 2 つの手段を想定している。

1. プロジェクトチーム及び Jam Club 会員による候補地の選定の決定
2. 不動産所有者による自己申請

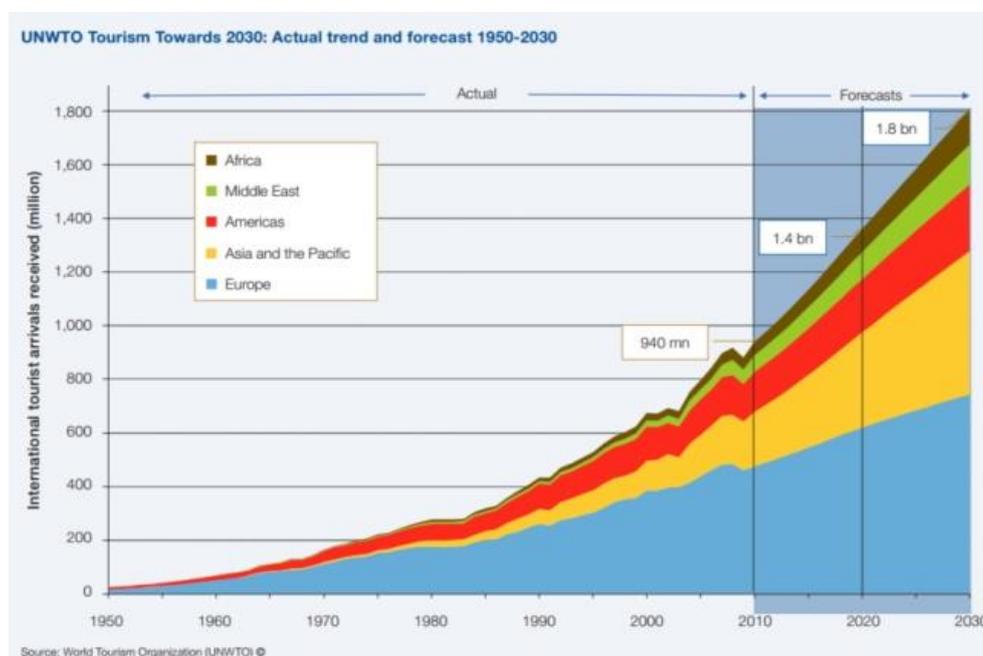
シェアポート Jam には、Jam Club 会員がある。Jam Club 会員は、ポートの拡大計画に参

画することが出来るという特権がある。彼らは、実際に **Jam** を使う利用者であるため、彼らの意見は重要である。その為、我々プロジェクトチームが考える案・構想を彼らに伝えることで、共に知恵や知識、そして、情報を出し合いながら、港の拡大を進めていきたいと考えている。そして、もう 1 つは、不動産所有者による自己申請だ。これは、実際に維持管理に困っている所有者や、シェアポートの仕組みに共感いただける方に、自ら申請してもらおうというもの。申請して頂いた不動産情報は、まずはプロジェクトチームが選定し、その後、**Jam Club** 会員と共に話し合い、港にするか否かを決定する。一定の会員数及び、数か所のポートが確保できたら、次の段階で『3.外国でのポートの拡大』を行う。

やはり外国においても、日本国内の戦略同様、まずは会員数の拡大から進める。そして、その数に応じてポートの数を拡大していく予定だ。但し、注意しなければならないことは、治安である。紛争・テロが頻繁に起こっている地域は、当然避けなければならない。

**Jam** の会員であれば、世界中にある **Jam** を利用できる。

ご周知のとおり、今や世界は大移動時代になった。その要因は、**LCC (low cost carrier)** による移動コストが以前に比べ大幅に安くなったこと、そして、グローバル化が進み世界がフラットになったためである。また、今後さらに多くの人々が移動するようになると思われる。



(UNWTO による世界の海外旅行者数の長期予測値)

その為、**Jam** を世界に広げることで、より多くの会員がコストを抑えて世界を移動しなが

ら暮らせるようになれると考えている。

これは、あくまでも現段階での仮設であり、実態に即して何度でも修正されるべきものであることを注釈しておきたい。

## 9. 第1号となる Jam は

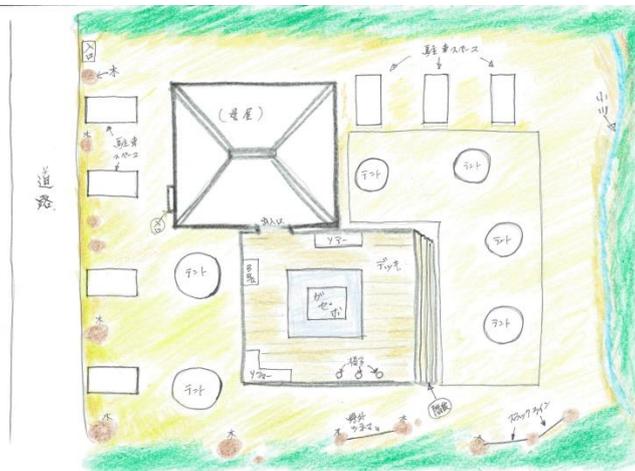
今回のプロジェクトの第1号となる港『Jam』は、長野県の飯綱高原にある、およそ100坪程度の土地。飯綱高原は、首都圏から車で約3時間半で行ける（場所にもよるが）、わりと小さなリゾート地である。1998年の長野冬季オリンピックで、モーグルやエアリアルの会場にもなった場所。周りには、スノーリゾート4カ所を始め、登山、アスレチックや湖、BMX/MBのbikeコースなどがあり、近くには蕎麦で有名な戸隠、忍者村、そして、ワイナリーがあるなど、有名リゾートとはまた違った、穴場的なリゾートである。ただ、今この「Jam」には、小さな古い母屋がたっているだけ。後は伸び放題の雑草と背の高い木々。Jamとして使うためには、母屋の改良から再度インフラを整備しなければならない。





今回この Jam は、高原の中で自然と共存していることを味わいながら、訪れる人の感覚、感性を刺激するユニークな空間をつくる予定である。そのため、まずは母屋の改良と、港らしい広いデッキの設営を行い、星空の下、お酒を飲みながら野外シネマをみたりできる空間をつくりたいと思っている。そして、順次ゲストルームを作っていく予定だ。なので、最初はテントやキャンピングカーでの停泊からスタートとなる。

イメージ図はこちら↓



## 10. Jam プロジェクトのビジョン・ミッション

Jam プロジェクトのビジョンは、いたってシンプルである。ビジョンは『今を楽しむ』である。この世界観を実現するため、我々は『多拠点居住地が持てる仕組みを作り、誰もが好きな時に自由に行き来しながら暮らせるようにする』というミッションを遂行する。言い換えれば、1つの場所に縛られない流動的な暮らしを可能にすることである。コンピュータ社会になるにつれ、世界全体が多様性を求められ、今や個人の QOL (quality of life) を重視する社会へとようになってきた。Jam は、こうした社会背景に対応しうる新しいライフスタイルである。我々はミッションを遂行するにあたり、以下の内容を具現化する。

1. 人々を高額な住居費から解放し、より自分の生活を最適化する。
2. 自然の流れで人と人が出会える場を創出することで、QOL を高める。
3. 都合に合わせて、最適な場所へ移動しながら暮らす。

多拠点居住地のある生活は、一部の裕福層だけというのは、もう旧世代なものと感じている。今週はこっちのポート、来月はあっちのポートと、気分や季節に合わせて、船旅をしているかのように停泊場所を変えながら暮らす、そんな流動的で変化のある日々を過ごすことができる。まさに『今を楽しむ』暮らし方が Jam の目指すところである。

## 11. メンバープロフィール

---



Takahiro Uji  
Founder

一般社団法人 ACTION FOR KIDS ASSOCIATION  
代表理事 シェアポート Jam Founder プロジェクト  
クリエイター・情報『NEWS』ライター

TEMPLE UNIVERSITY, Japan campus 出身 (株)熊  
谷組 不動産事業部を経て、一般社団法人 ACTION  
FOR KIDS ASSOCIATION 創業 『子供たちのため  
に大人が変わる』をテーマに、世界の実情・動向の情  
報発信や、これからの新しい生き方・ライフスタイル  
の創出・提案をおこなっている。



Atsushi Tanaka  
Architectural Director

建築家／デザイナー

デザインファーム BAUM 一級建築士事務所 主宰  
大学院修了後、馬庭建築設計事務所にて神社仏閣（出  
雲大社・伏見稲荷・鹿嶋神宮・・・）等の伝統建築、  
大型木造建築等数多くの設計に携わる。2015年、デザ  
インファーム BAUM 設立。木造建築の新たな可能性、  
素材にこだわった空間づくり、ストック型社会におけ  
るこれからの『場づくり』を日々模索している。

---

## 12. リターンについて

リターンについては、現在以下のものを想定している。但し、実際にクラウドファンディングを行う際に、リターン内容が現時点と異なる場合もあるので、改めてクラウドファンディングサイト内でのリターン内容を確認して頂きたい。

3,000 円

**【シンプル支援】**

Jam の挑戦を支援くださる方に。

リターンはサンクスメール。

※2018 年 7 月発送予定です。



3,000 円

**【テント（1 張り） レンタル利用権（1 停泊）（会員限定）】**

飯綱 Jam にてご利用いただけます（大きさ：3～4 名程度）

シュラフ、マット等をご準備ください。

※会員限定とは、Passport、Jam Club、Jam Business 会員いずれかの購入者を示す

※ご利用時間：午後 15 時～翌午前 11 時

※2018 年 7 月発送予定



3,000 円

【ハンモック (1 枚) レンタル利用権 (1 停泊) (会員限定)】

飯綱 Jam にてご利用いただけます。

※ご利用時間：午後 15 時～翌午前 11 時

※2018 年 7 月発送予定です。



5,000 円

【Jam 開業記念 BBQ 大会 (会員限定)】

飯綱 Jam にてバーベキューを行います。食材(可能であれば器材も)は各自持ち込み。

Jam の話題を肴にワイワイとやりましょう。

※2018 年 7 月発送予定です。



5,000 円

【スラックライン (1 本) 2h 貸し切り権 (会員限定)】

飯綱 Jam にてご利用いただけます。

※2018 年 7 月発送予定です。



5,000 円

**【卓球 2h 貸し切り権（会員限定）】**

飯綱 Jam にてご利用いただけます。

※卓球台 1 台、ラケット 4 つ、ボール 2 つ利用できます。

※2018 年 7 月発送予定です。



7,000 円

**【好きな映画上映権（会員限定）】**

ご希望の映画を飯綱 Jam にて野外シネマで上映します。

※レンタルビデオショップにある映画の中からご指定ください。映画はこちらでご用意します。

※ご用意できない場合は、改めてご相談させていただきます。

※2018 年 7 月発送予定です。7 月以降でご相談の上、日程調整します

8,000 円

**【たくさん支援】**

Jam の挑戦をたくさん支援してくださる方に。

サンクスメール及び、弊社の HP にロゴ（お名前）を掲載します。

※2018 年 7 月発送予定です。



14,000 円

【無農薬 畑 1 畝 (L: 約 50m、W: 約 0.7m) 利用権】

飯綱 Jam から車でおよそ 13 分、標高 1,000m に位置する無農薬の畑をご利用いただけます。

期間は、5 月から 12 月頭頃までの約 7 ヶ月強。

有機の堆肥つき。農機具、耕運機利用可 (肥料は一切使用していません)。

※こちらのリターンは、会員でなくてもご購入いただけます。

※毎年 12 月中頃～翌年 4 月末は雪のため利用不可

※2018 年 6 月発送予定です。

**Jam**  
SharePort

19,800 円

【Passport 会員】

港利用許可証 (Pass Port) の発行。

月に 1 回、レストランでディナーを食べるのと同じぐらいの価格で、1 年間 Jam をいつでもご利用いただけます。ゲストルームの予約や各種イベント、交流会などへの参加も可能となります。

※ゲストルームの利用及びイベントは別途費用がかかります。

※Passport 有効期限は、お申し込み月またはご希望月から 1 年間。

※2018 年 6 月発送予定です



30,000 円

**【Jam Club 会員】**

港利用許可証 (Passport) の発行及び、Facebook の非公開グループへご招待いたします。

※Passport 有効期限は、お申し込み月またはご希望月から 1 年間

※リターン購入後に、Facebook 非公開グループにご招待致します。(Facebook に登録されていない方は、事前登録願います) Facebook 登録済の方は、リターン購入済み画面の画像添付の上、AFKA の Facebook ページへメッセージをお送り下さい。この手順の後、ご招待致します。メッセージが送れない場合は、最新記事のコメント欄に、その旨をお伝え下さい。尚、他会員様への迷惑行為や誹謗中傷等、マナーが守れない方は、強制退会させて頂く場合がございますので、予めご了承下さい。

※2018 年 6 月発送予定です。



50,000 円

**【Jam Club 会員 + 特別観光ツアー半日 + サンクスメール】**

Jam Club 会員に加えて、下記をプレゼントします。

- ・長野及び飯綱周辺を満喫する特別観光ツアー (半日)
- ・サンクスメール

※Jam Club 会員については、上記 **【Jam Club 会員】** をご参照ください。

※2018 年 7 月発送予定です。



50,000 円

**【Jam Club 会員 + Jam1 日貸し切り + サンクスメール】**

Jam Club 会員に加えて、下記をプレゼントします。

・飯綱 Jam を 1 日貸し切りでご利用できます。基本ご利用時間は、午後 15 時～翌午前 11 時ですが、ご相談に対応します。

・サンクスメール

※Jam Club 会員については、上記 **【Jam Club 会員】** をご参照ください。

※2018 年 7 月発送予定です。



50,000 円

**【Jam Club 会員 + 出張講演 + サンクスメール】**

Jam Club 会員に加えて、下記をプレゼントします。

・出張講演会（交通費を別途ご用意ください）（要日程調整）

・サンクスメール

※Jam Club 会員については、上記 **【Jam Club 会員】** をご参照ください。

※2018 年 7 月発送予定です。



80,000 円

**【Jam Club 会員 + 特別観光ツアー半日 + Jam1 日貸し切り + サンクスメール】**

Jam Club 会員に加えて、下記をプレゼントします。

- ・長野及び飯綱周辺を満喫する特別観光ツアー（半日）
- ・飯綱 Jam を 1 日貸し切りでご利用できます。基本ご利用時間は、午後 15 時～翌午前 11 時ですが、ご相談に対応します。
- ・サンクスメール

※Jam Club 会員については、上記 **【Jam Club 会員】** をご参照ください。

※2018 年 7 月発送予定



100,000 円

**【Jam Club 会員 + Jam2 日貸し切り + サンクスメール】**

飯綱 Jam を 2 日間貸し切りでご利用できます。

飯綱 Jam を拠点に、長野市内をはじめ、戸隠、黒姫、小布施など、ゆっくり長野を満喫できます。

※Jam Club 会員については、上記 **【Jam Club 会員】** をご参照ください。

※2018 年 7 月発送予定です。



130,000 円

【Jam Club 会員 + 特別観光ツアー半日 + Jam2 日貸し切り + サンクスメール】

Jam Club 会員に加えて、下記をプレゼントします。

- ・長野及び飯綱周辺を満喫する特別観光ツアー半日（要日程調整）
- ・飯綱 Jam を 2 日間貸し切りでご利用できます（ご利用時間：午後 15 時～翌々日午前 11 時）
- ・サンクスメール

※Jam Club 会員については、上記【Jam Club 会員】をご参照ください。

※2018 年 7 月発送予定です。



18,000 円×従業員数

【Jam Business 会員】

法人様専用の会員登録です。法人用 港利用許可証 Pass Port を発行いたします。

年会費は 18,000 円×従業員数の価格となります。

※Passport 有効期限は、お申し込み月またはご希望月から 1 年間

※リターン購入時に、会社名、担当者名及び連絡先、従業員数をメールにてお知らせ下さい。この手順の後、法人用 Passport を発行いたします。

※2018 年 6 月発送予定です。

## 13. お金の使い道

最低目標額 100 万円を集めた場合、以下の内容に使う想定でいる。

- ・飯綱 Jam 母屋の水回り改修、母屋基礎補修

水回りの老朽化、および、地震時に起きたと思われる基礎のクラックがあるため、この 2 点を最優先とし費用を投じる。

100 万円以上調達できた場合は、調達金額に応じて、他の工事費や集客および第 2 のポート拡大に関わる費用に投じる想定である。

## 14. 結論

最後までお読みいただいた事に深く感謝の意をお伝えする。我々が実現したい事は、人々が家を持つにあたり、高額な費用負担から解放され、誰もが複数の居住地が持て、好きな時に自由に行き来できる流動的な暮らし方を創出することである。また、新しい人たちと出会えることで、自身の QOL (quality of life) を上げることに繋がるプラットフォームを実現すること。そして、最終的にはその『場』を世界へと広げ、世界中を移動しながら暮らせ、人と人との繋がりが生まれる場を構築することである。

我々は、従来の暮らし方の延長に、『流動』というエッセンスを持たせることで、暮らしに変化を生み、日々の暮らしが楽しいものになると考えている。それが、多拠点居住地のある暮らしでありコミュニティプレイスのある暮らしである。

ご周知の通り、いま時代は社会構造が大きく変わる過渡期。そのため、この新しいライフスタイルを構築するには最適な時期であると考えている。そして、この新しい暮らし方を次の世代へ繋ぎ、彼らがより楽しんで生きていくための手段の 1 つになればと思っている。もし、これまで述べてきた我々の世界観に共感いただけるのであれば、是非ともクラウドファンディングにご参加していただき、共にこのシステムの実現に貢献していただきたい。皆様のご協力がなければ実現できないプロジェクトであるため、何卒ご支援のほどお願い申し上げます。

## 更新履歴

2018.6.8 11章、『メンバープロフィール』追加、『更新履歴』の追加

2018.8.1 4章、『シェアポート Jam の利用方法』の内容修正

*Jam*  
SharePort

